

# 東日本大震災・市民協 Fax 通信 No.7

2011年3月22日 電話 03-6809-1091

## 《市民協の動き》

☆カンパの送金：市民キャビネット災害支援部会、みやぎ宅老連、よしかわたすけあい  
(総計：670,000円)

☆現地本部、全国本部事務所捜し

☆支援金の受け入れ (3月17日以降) ご支援ありがとうございます。

じゃんけんぼん (57,000円)、たすけあいの会ふれあいネットまつど (50,000円)、  
いぶりたすけ愛 (100,000円)、ギフ福祉ネットワーク東部 (55,000円)、

自立共生会 (50,000円)、医療法人創健会 (50,000円)、水野嘉女 (100,000円)、  
井上謙一 (20,000円)、たすけあい鼓楼 (1,000,000円)、島津禮子 (100,000円)

ぐる一ふ藤 (240,000円)、あすなろの会 (150,000円)

総計 3,267,424円 (3月22日12時時点)

## 《現地状況》

SOS よしかわたすけあい 25人の被災者受け入れ **全国の支援よろしく!!**

今回の震災の特徴は県外脱出者が多いことである。これは原発問題と津波による地域壊滅状態が影響している。阪神・淡路大震災の時にはこういう事態は見られなかった。

その具体的事例だが、新潟上越市に避難した25名は、「NPO法人よしかわたすけあい」(加藤正子理事長)の「居場所」(古い旅館を借り上げている)へ25人をあつまり、毎日3食を作り生活支援をしている。

ところが、これを行政は支援しないのだ。加藤さんがかけあつたところ「それはNPOがやっていることで、行政は支援しない」という。これではNPOは持たない。無償ボランティアで労働力は提供するにせよ、食事代と宿舎の借り上げ料は行政側の責任である。

このことは自治体を実施した場合には、国が完全な補償をすることになっている。

こんな馬鹿馬鹿しいことはない。NPO法人市民福祉団体全国協議会は、国、自治体に申し入れをするが、その決定を待っておれないので、市民協は早速にも支援金を送るとともに、食材や生活必需品の送付を開始した。

☆全国の皆さんから物資などを送付される場合には、下記の加藤理事長に電話をして何がどれだけ必要かを聞いてからにしてください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

特定非営利活動法人よしかわたすけあい

理事長 加藤 正子 (090-7284-1036)

〒949-3445 新潟県上越市柿崎区柿崎 6286 TEL・FAX 025-520-7710

E-mail help2820@valley.ne.jp

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 北茨城からの報告 ウィラブ北茨城 高松理事長より

☆昨日、各避難所（8箇所）に物資を届けてきました。

今日も、二箇所の避難所に生鮮食材・医薬品などお届けしてきます。

北茨城市の避難所は被害内容から3類型に分別されます。

1. 津波で家屋が流失・倒壊したため、着の身着のまま避難してきた方々の避難所
2. 原発からの放射能被爆を恐れ、福島県から避難してきた方々の避難所
3. 独居高齢者、または高齢者世帯の方々が、余震の続く中、家屋内の生活に危険性が伴う為、集会所や介護事業所などに避難している方々。

◇分類別現況

類型1：被災者（家屋流失）避難所は4箇所です⇒平潟公民館、平潟小学校、大津小学校、常北中学校（総計160名）

類型2：福島県からの避難者受け入れ施設は二箇所です⇒公共の宿マウントあかね（80名）関本多目的集会場（4名）

類型3：介護事業所や個人宅への避難者などいるため、実数は把握していません。

◇ニーズ

- ①温かい食品に飢えています⇒炊き出しボラ、調理ボラの方々は引き上げました。
- ②励ましの支え人（先行きが真っ暗な方達）が必要です⇒メンタルケアの専門家
- ③衣類～サイズ・色・デザインなど結構要求水準が高い（下着は新品のものを）⇒衣料品店などがぼちぼち営業開始しているので助成金の必要性を検討されたい。
- ④卵・牛乳・生野菜などが不足している⇒スーパーなどは営業開始しているが、開店直後にあっという間に買い占められてしまう。
- ⑤多様なニーズ（乳幼児下着類等）にきめ細かく対応してあげたいのですが全てのニーズには応えきれません。

◇後記

4日間支援活動と生活を共にしてきた、東京からのNGO シャブラニールのメンバー3名が、今日から福島入りするため、お別れ会（といっても、お茶とクッキーなど）を開催しました。

先だっては、三重県からの方々が物見遊山ボランティア？だった事を知り残念な気持ちでしたが、前述のような素晴らしい活動を行っている方々と知り合えた幸せを感じています。

それもこれも「新しいふれあい」のひとつの形なのでしょう。

\*\*\*\*\* ありがとう おたがいさま \*\*\*\*\*

〒319-1538 茨城県北茨城市華川町小豆畑1141番地1

特定非営利活動法人 ウィラブ北茨城 高松 志津夫

TEL 0293-43-1208 FAX 0293-43-1366

☆感謝！感謝！感謝！

今日は、市内の介護施設と避難所に救援物資を届けたり、受け取りに来てもらったりの一日でした。

まずは、現在本会に届けられた支援物資のリスト作成と、今日現在必要としている物資の仕分け作業を全員で行い、午後8時までにはとりあえず介護施設への配給は終わりました。

明日は市内被災の方々や、福島県から避難してきた方々の避難所に、今一番必要な温かい物（食事、飲み物、毛布など）を届けます。

ただ、こういう状況はイベントやお祭りではないので、長期間にわたる支援が必要です。

一気に支援物資を送り届けていただくのではなく、ずっと長期間にわたって支援して行かなければなりません。

誠に勝手なお願いですが、定期的な支援物資の補給をお願いしたいと思います。

## 《支援情報》

### 看護師の派遣 医療法人創健会ウエルネス医療クリニック 多湖光宗

自立共生会 多湖光宗（ウエルネス医療クリニック）は、キャンナスと協力して、3月22日より看護師1名派遣します。

医薬品などを運ぶ予定です。仙台往診クリニックと岩沼のホームひなたぼっこは行く予定ですが他に行くべきところ、必要なものをお教え下さい。

### CS神戸の動き

3月18日（金）に理事会を開催し、「被災地と被災者の要望に沿い、政府・行政機関と密接な連携のもと、息の長いサポートを行う」という方針を定めました。具体的には以下のような活動を考えています。

#### 1. 義援金を集めます

##### （1）募金方法

- ・ CS神戸のスタッフ、会員、関係者、一般の方から、事務所や事業所現場に設置した募金箱を通じ、現金による義援金を常時受け付けます。当面、月次単位で集計し、期間は状況を鑑みて判断します。
- ・ CS神戸の主催する各種イベントや研修会において募金箱をまわします。
- ・ CS神戸の繰越金から相当額の義援金を準備中です。

##### （2）配分先について

- ・ CS神戸のスタッフ、会員など関係者で被災された方にお渡しします。
- ・ 阪神・淡路大震災で支援を受けた被災地の団体や関係のある個人にお渡しします。
- ・ 被災地で緊急救援活動を開始している「被災地NGO協働センター」にお渡しします。

#### 2. 兵庫県内に移転されてきた被災者の方をサポートします

（1）兵庫県内、神戸市内に移転されてきた被災者の、生活関連物資（電気製品・寝具・衣類食器など）

のマッチングを行います。兵庫県や神戸市の住宅管理部門や被災者のニーズを聞きとりながら、「マッチング・システム」でよびかけ、協力を依頼します。収集と保管搬入については、神戸市内の他のNPOと連携して実施します。

（2）移転されてきた被災者が地域コミュニティに馴染めるよう、NPOや社会福祉協議会と連携し生活や心の支援を行います。新たな土地で安心して暮らせるよう環境を整えるお手伝いをします。

#### 3. 他の支援団体と連携します

(1) 国、兵庫県、神戸市の支援本部が立ち上がっており、これらの行政と密接に連携し、現地の負荷にならないサポートに徹します。

(2) 全国的なネットワークとして、公益財団法人さわやか福祉財団、NPO法人NPO事業サポートセンター等と連携します。

(3) 複数のNPO関連の協議会が次々と立ち上がっており、これらとは情報交換を通じて連携し、効果的なサポートができるよう配慮します。

#### 4. 情報を開示します

(1) CS神戸の一連の取り組みや報告については、逐次ホームページ上で公開します。ご協力の程、どうぞよろしくお願いたします。

NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸 (担当：中村順子、飛田敦子)

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町 2-13-1 森田ビル 3 階

TEL : 078-841-0310 FAX : 078-841-0312

E-mail : [info@cskobe.com](mailto:info@cskobe.com) HP : <http://www.cskobe.com/>

### 東北関東大震災支援 13 (市民キャビネット災害支援部会) 2011.03.21.06 : 00 発信

現地の必要物資一覧

#### ■食糧

- ・カップラーメン：大量依頼
- ・缶詰(肉、魚、くだもの)：大量依頼
- ・野菜
- ・米：大量依頼
- ・みそ、塩、砂糖：大量依頼

#### ■生活用品

- ・紙オムツ(大人・子供):大量依頼
- ・生理用品：大量依頼
- ・トイレトペーパー：大量依頼
- ・ティッシュ：大量依頼
- ・粉ミルク
- ・コップ/はし：大量依頼
- ・サランラップ
- ・カセットコンロ/ガスボンベ：大量依頼
- ・ハブラシ
- ・ウェットティッシュ：大量依頼
- ・ポリタンク：大量依頼
- ・マスク
- ・乾電池
- ・懐中電灯
- ・炭/着火剤/ガスバーナー：大量依頼
- ・マッチ/ライター
- ・ベビー用品

・ガソリン缶：大量依頼

食料、ガソリン、灯油、軽油

ガスは仙台中心部でも3ヶ月ほどかかるそうです。プロパンガスやカートリッジのガスボンベもあれば助かります。

## 奮闘する「市民キャビネット災害支援部会」

松尾道夫

埼玉NPOハウス <m.matsuo@tba.t-com.ne.jp>

【報告】菅生サーキットに市民キャビネット災害支援部会前進基地を設置しました。

現地で活動するボランティアスタッフ5名は先遣隊及び「市民防災ヘリコプターチーム」と合流して救援活動に入っています。8:30-15:30の時間制限があり、前進基地は移転予定です。

戸田市にバイオ燃料(千リットル)給油スポットを開設して市民キャビネットの証明があるディーゼル車に無償で給油します。21日午前10時30分からオープン。

「輸送隊」菅生サーキット前進基地からマイクロバスでいわき市の松村総合病院へ食料を搬送しました。本部から仙台市青葉区二日町4-26リバティーハイツ二日町102仙台市役所そばの緊急支援対策本部へ灯油、軽油ドラム缶各1缶及び食糧等の緊急物資を移送しました。(ユニバーサルデザイン研究機構と協働)

国境なき楽団つばさ号は食料品、野菜(500kg以上)を積んで、仙台市青葉区二日町4-26リバティーハイツ二日町102仙台市役所そばの緊急支援対策本部へ出発しています。

米沢、宮城復興支援センター等々への移送で輸送隊は活躍しています

21日8:30 マルエツの協力を得て、市場から直接仕入れられそうです。

そろい次第仙台市青葉区二日町4-26リバティーハイツ二日町102仙台市役所そばの緊急支援対策本部へ1.3tで移送します

ユニバーサルデザイン研究機構のボランティアの協力を得て、支援物資の仕分けを行いました。衣類、毛布の受け付けは、中止しています。

輸送隊不足しています。埼玉NPOハウスから被災地までのトラック(4tくらい)及び前進基地から避難所までの物資移送できる車両(4t以下)が必要です。できれば持込みで移送できる方募集します。

.....

市民協 東日本災害支援 支援金口座

送金先 : 三井住友銀行 浜松町支店

(普通) 9101171

口座名 特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会